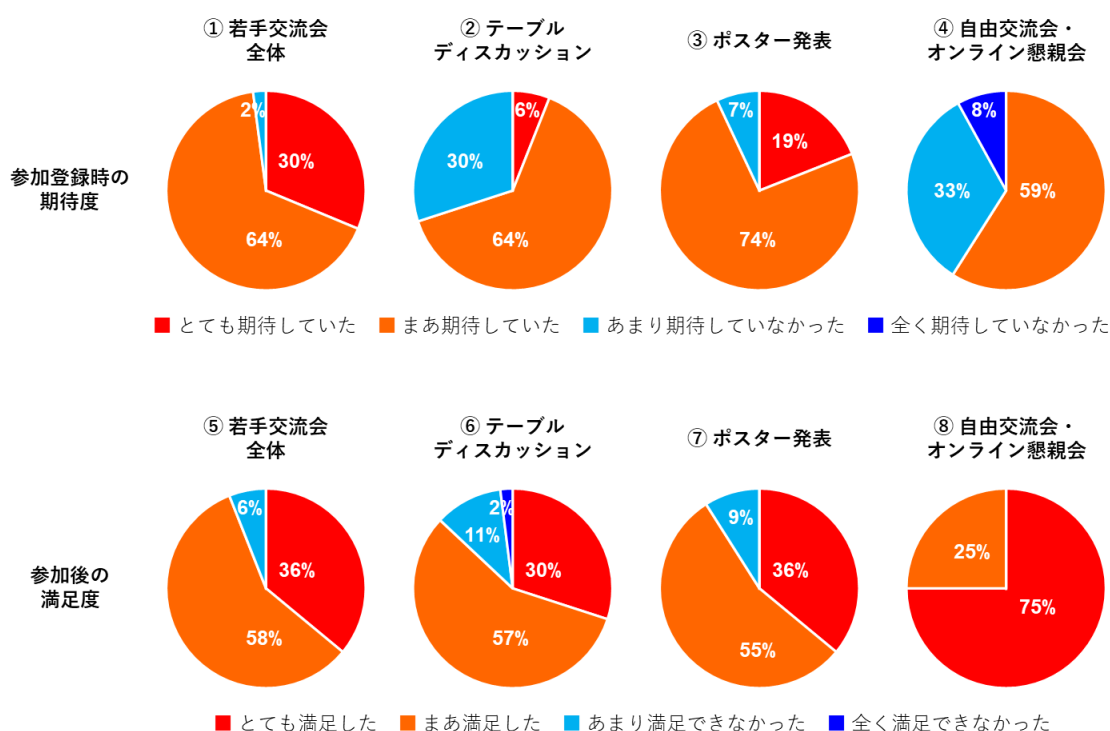


## 第1回 蛋白質科学会若手の会 研究交流会アンケート結果

更新: 2021年6月22日(火)

このたびは、第1回研究交流会にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。皆様からいただいたアンケートの結果、蛋白質科学会若手の会として初めてのオンライン交流会にもかかわらず、**満足度 94%**の盛会でした（下図⑤，参加者 63名，回答者 53名）。不慣れな運営ではございましたが、ポスター発表・テーブルディスカッションどちらも参加登録時の期待を上回ることができ、特に自由交流会・オンライン懇親会では満足度 100%を記録できました。皆様には、この場をお借りして重ねて御礼を申し上げます。



また、自由記述欄には以下のご意見・コメントをいただきました。改善点は若手交流会のスタッフ内で共有し、皆様のご期待に応えられるように精進して参ります。本若手交流会が、少しでも皆様のお力になれば幸いです。

### <全体について>

- ・ コロナ禍の閉鎖空間の中、このような会に参加できて満足です。
- ・ 楽しかったです。時間がなんぼあっても足らん充実感でした。
- ・ 普段交流していない方々と交流できる貴重な経験ができ、とても充実した時間でした。
- ・ 同世代のみなさんが活躍していることを実際に知ることができてよかった。
- ・ 教員という立場で参加させていただき、たくさんの気づきがあった。

#### <ポスター発表について>

- ・班内でポスター発表を聞き、それをまとめて全体発表するという形が斬新で面白かった。
- ・新しい実験手法や新しく発見された蛋白質についての知見を得られてよかった。
- ・自分と同年代の学生が、自らの研究と真摯に向き合い結果を出そうとしていることを目の当たりにして、研究に対する意欲が高まりました。
- ・魅力的な研究内容の発表の仕方を学ぶことができました！
- ・トップレベルの大学の方と交流して、自分と問題に対するアプローチがかなり違うことに気づき、とても勉強になりました。
- ・自分が現在取り組んでいる手法についてアドバイスをいただけたのが、よかったです。
- ・去年は特に、コロナ禍で研究活動も制限があった時期もありましたが、修士1,2年生の方もたくさん研究成果を出されていて、刺激になりました。様々な方の研究内容を聞けて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・研究が進まず不安だったが、皆同じ状況で工夫していると知り、負けてられないと思えた。
- ・異分野の人と話すのは不安でしたが、気さくに接して下さりモチベーションが上がった。

#### <テーブルディスカッションについて>

- ・オンラインでの交流には苦手意識があったが、ポスター発表とディスカッションを同じ班で話せたので、後半は特に会話も増えて良かったです。
- ・周りに医者が多く、本当の意味での研究者と接する機会が少なかったため、研究者の考え方や価値観を知るきっかけとなった。
- ・アカデミアに進む方の考えを聞いたため、とても参考になった。
- ・様々なキャリアを目指している同世代の人と交流でき、人生設計を考えることができた。
- ・私の班では海外思考の強い学生が多く、いい刺激になった。
- ・就職が決まった先輩のお話を伺えてよかった。意外と企業就職希望者が多くて驚いた。
- ・社会人博士を考えており、大学院を入り直した人を知り、年齢による不安が和らいだ。
- ・D進や研究のことなど、悩んでいたことが少しすっきりしました。コロナ禍で他の人になかなか相談できず、自分の中で抱え込んでいたので、それを打開する良い機会でした。
- ・後輩の方々に自分のD進した理由や、大切にしていることを伝えることができた。

#### <自由交流会やオンライン懇親会について>

- ・他大学でのコロナ禍内での皆さん（学生及び教員）の考えを知ることができてよかった。
- ・物理的な距離の障壁を超えてお話しできたのが嬉しかった。友達や知り合いが増えた。
- ・自分が所属している研究室は普通ではなかったと視野が広がり、選択肢が増えました。
- ・懇親会では、初めて会った先輩に進路の悩みを相談する機会があり、不安が和らいだ。